



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 三谷セキサン株式会社
 コード番号 5273 URL <http://www.m-sekisan.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三谷 進治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阿部 亨

TEL 0776-20-3333

定時株主総会開催予定日 2021年6月15日 配当支払開始予定日

2021年6月16日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	68,907	8.2	7,494	11.9	8,044	8.7	5,375	4.3
2020年3月期	75,094	5.7	8,503	4.7	8,813	4.2	5,614	1.9

(注) 包括利益 2021年3月期 8,344百万円 (62.1%) 2020年3月期 5,148百万円 (29.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	280.34		8.5	8.5	10.9
2020年3月期	289.15		9.6	9.9	11.3

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	97,958	68,581	68.5	3,501.85
2020年3月期	91,743	61,529	65.0	3,109.43

(参考) 自己資本 2021年3月期 67,112百万円 2020年3月期 59,669百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	8,881	3,213	1,214	35,103
2020年3月期	9,935	1,789	2,801	30,596

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		13.50		26.50	40.00	769	13.7	1.3
2021年3月期		15.50		27.50	43.00	824	15.3	1.3
2022年3月期(予想)		21.50		21.50	43.00		20.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	5.3	3,000	18.9	3,300	16.4	2,200	16.1	114.74
通期	68,000	1.3	5,600	25.3	6,100	24.2	4,000	25.6	208.62

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期	24,986,599 株	2020年3月期	24,986,599 株
2021年3月期	5,821,594 株	2020年3月期	5,796,764 株
2021年3月期	19,173,794 株	2020年3月期	19,418,337 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、経済活動が制約される状況となり、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力製品であるコンクリートパイル業界におきましては、官公需要、民間需要ともに減少したため、業界全体の出荷量は前期比で7.8%減少いたしました。

当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は689億7百万円（前期比8.2%減）、営業利益は74億94百万円（同11.9%減）、経常利益は80億44百万円（同8.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は53億75百万円（同4.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コンクリート二次製品関連事業

コンクリート二次製品関連事業につきましては、主力のコンクリートパイル部門において需要が減少する厳しい経営環境の中で、販売強化に努めました。その結果、当部門の売上高は560億6百万円（前期比8.1%減）となり、営業利益は67億78百万円（同8.9%減）となりました。

② 情報関連事業

情報関連事業につきましては、Windows10対応による特需が終了したこと等により、売上高は75億26百万円（前期比10.2%減）となり、営業利益は5億6百万円（同13.9%減）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、ホテル事業並びにボウリング事業において稼働率が低下したため、売上高は53億75百万円（前期比6.5%減）となり、営業利益は9億20百万円（同17.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は979億58百万円となり、前連結会計年度末と比べ62億14百万円増加いたしました。これは主に、投資等の固定資産の増加によるものであります。

負債合計は293億77百万円となり、前連結会計年度末と比べ8億37百万円減少いたしました。これは主に、仕入債務等の流動負債の減少によるものであります。

純資産合計は685億81百万円となり、前連結会計年度末と比べ70億52百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は351億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億6百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、88億81百万円（前期は99億35百万円）となり、前連結会計年度に比べ10億53百万円の減少となりました。これは、税金等調整前当期純利益の減少、たな卸資産の増加等が主な内容であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△32億13百万円（前期は△17億89百万円）となりました。これは、工事用部材、工場用設備等の有形固定資産の取得による支出22億61百万円が主な内容であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△12億14百万円（前期は△28億1百万円）となりました。これは、自己株式の取得による支出、配当金の支払による支出が主な内容であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	65.8	65.0	68.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	69.0	95.9	78.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	3.5	2.8	2.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	2,298.4	4,628.2	5,533.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策が講じられるなかで、景気は徐々に回復基調となることを見込まれますが、先行きは依然として不透明な状況が続くものと予測されます。

コンクリートパイル部門につきましては需要減少に伴う価格競争の激化や原材料価格の上昇が見込まれ、またホテル事業につきましては新型コロナウイルス感染症による稼働率の低迷が引き続き見込まれます。

このような状況を踏まえ、次期（2022年3月期）の連結業績につきましては、売上高680億円（前期比1.3%減）、営業利益56億円（同25.3%減）、経常利益61億円（同24.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益40億円（同25.6%減）と予想しております。

なお、上記連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は中長期的に安定した利益還元を維持すると共に、当期の業績並びに今後のM&A、設備投資、研究開発などの事業展開を総合的に勘案して配当を実施しております。

この方針に基づき、当期の期末配当金は1株あたり27円50銭（中間配当金と合わせて年間43円）とし、年間配当金総額8億24百万円とさせていただきます予定であります。

また、その他の株主還元策としましては、当期におきまして、自己株式を市場買付けにより117,800株（取得価額4億70百万円）取得いたしました。

次期の配当金は次期業績予想を勘案し、1株あたり中間期末は21円50銭、期末は21円50銭（年間43円）とさせていただきます予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,699	36,342
受取手形及び売掛金	20,341	17,589
電子記録債権	2,253	2,038
商品及び製品	2,339	2,710
仕掛品	36	26
原材料及び貯蔵品	832	832
前払費用	37	32
短期貸付金	1	1
未収入金	25	128
その他	460	373
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	58,025	60,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,119	4,042
機械装置及び運搬具（純額）	3,024	2,945
工具、器具及び備品（純額）	1,180	1,219
土地	7,360	7,380
建設仮勘定	18	84
その他（純額）	242	177
有形固定資産合計	15,946	15,851
無形固定資産		
ソフトウェア	822	992
その他	122	42
無形固定資産合計	945	1,034
投資その他の資産		
投資有価証券	15,428	19,787
長期貸付金	12	12
差入保証金	275	258
固定化営業債権	0	0
長期前払費用	72	55
繰延税金資産	548	585
その他	501	312
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	16,825	20,999
固定資産合計	33,718	37,885
資産合計	91,743	97,958

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,695	8,519
電子記録債務	6,550	5,798
短期借入金	36	36
未払金	3,517	2,928
未払費用	1,343	1,501
未払消費税等	495	415
未払法人税等	1,504	1,038
工事損失引当金	73	74
保証工事引当金	26	27
建物解体費用引当金	100	—
その他	989	814
流動負債合計	23,333	21,153
固定負債		
長期借入金	242	206
長期預り保証金	244	242
リース債務	593	396
繰延税金負債	4,061	5,487
役員退職慰労引当金	553	561
退職給付に係る負債	981	1,055
保証工事引当金	128	114
建物解体費用引当金	—	100
その他	76	58
固定負債合計	6,881	8,223
負債合計	30,214	29,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,146	2,146
資本剰余金	1,847	2,259
利益剰余金	51,371	55,940
自己株式	△5,122	△5,505
株主資本合計	50,241	54,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,427	12,273
その他の包括利益累計額合計	9,427	12,273
非支配株主持分	1,859	1,468
純資産合計	61,529	68,581
負債純資産合計	91,743	97,958

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	75,094	68,907
売上原価	61,086	56,035
売上総利益	14,008	12,872
販売費及び一般管理費	5,504	5,377
営業利益	8,503	7,494
営業外収益		
受取利息及び配当金	275	414
為替差益	—	52
その他	147	148
営業外収益合計	423	615
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	51	—
その他	59	64
営業外費用合計	113	65
経常利益	8,813	8,044
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	9	0
その他	—	8
特別利益合計	12	12
特別損失		
固定資産除売却損	6	16
減損損失	251	—
建物解体費用引当金繰入額	100	—
その他	49	0
特別損失合計	407	17
税金等調整前当期純利益	8,419	8,039
法人税、住民税及び事業税	2,858	2,596
法人税等調整額	△189	△44
法人税等合計	2,668	2,551
当期純利益	5,750	5,488
非支配株主に帰属する当期純利益	135	113
親会社株主に帰属する当期純利益	5,614	5,375

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	5,750	5,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△602	2,856
その他の包括利益合計	△602	2,856
包括利益	5,148	8,344
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,017	8,220
非支配株主に係る包括利益	131	124

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,146	1,847	46,410	△3,479	46,924
当期変動額					
剰余金の配当			△645		△645
親会社株主に帰属する当期純利益			5,614		5,614
自己株式の取得				△1,643	△1,643
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減			△8		△8
株式交換による変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	4,960	△1,643	3,317
当期末残高	2,146	1,847	51,371	△5,122	50,241

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,025	10,025	1,990	58,940
当期変動額				
剰余金の配当				△645
親会社株主に帰属する当期純利益				5,614
自己株式の取得				△1,643
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減				△8
株式交換による変動				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△597	△597	△130	△728
当期変動額合計	△597	△597	△130	2,588
当期末残高	9,427	9,427	1,859	61,529

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,146	1,847	51,371	△5,122	50,241
当期変動額					
剰余金の配当			△805		△805
親会社株主に帰属する当期純利益			5,375		5,375
自己株式の取得				△471	△471
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減					—
株式交換による変動		411		88	500
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	411	4,569	△383	4,597
当期末残高	2,146	2,259	55,940	△5,505	54,839

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,427	9,427	1,859	61,529
当期変動額				
剰余金の配当				△805
親会社株主に帰属する当期純利益				5,375
自己株式の取得				△471
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減				—
株式交換による変動				500
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,845	2,845	△391	2,454
当期変動額合計	2,845	2,845	△391	7,052
当期末残高	12,273	12,273	1,468	68,581

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,419	8,039
減価償却費	2,425	2,519
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	44	7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	57	74
建物解体費用引当金の増減額 (△は減少)	100	—
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	73	1
保証工事引当金の増減額 (△は減少)	27	△12
受取利息及び受取配当金	△275	△414
支払利息	2	1
為替差損益 (△は益)	51	△52
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
固定資産除売却損益 (△は益)	5	14
減損損失	251	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,761	2,967
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19	△364
その他の資産の増減額 (△は増加)	382	△12
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,533	△1,412
その他	261	161
小計	12,570	11,516
利息及び配当金の受取額	275	414
利息の支払額	△2	△1
その他	△41	—
法人税等の支払額	△2,867	△3,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,935	8,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	1,232	△15
投資有価証券の取得による支出	△7	△70
投資有価証券の売却による収入	6	0
有形固定資産の取得による支出	△2,370	△2,261
有形固定資産の売却による収入	3	3
連結子会社株式取得による支出	—	△411
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△68	—
営業権の取得による支出	—	△35
その他	△585	△424
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,789	△3,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7	—
長期借入金の返済による支出	△36	△36
リース債務の返済による支出	△355	△298
自己株式の取得による支出	△1,643	△471
自己株式の処分による収入	—	411
配当金の支払額	△645	△805
非支配株主への配当金の支払額	△113	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,801	△1,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	52
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,294	4,506
現金及び現金同等物の期首残高	25,296	30,596
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	5	—
現金及び現金同等物の期末残高	30,596	35,103

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業部門を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「コンクリート二次製品関連事業」及び「情報関連事業」の2つを報告セグメントとしております。「コンクリート二次製品関連事業」は、主な製品としまして、コンクリートパイル・ポール、環境製品、砂利製品等であります。「情報関連事業」は、主な製品としまして、コンピュータ周辺装置等の販売及びソフトウェアの受託製作であります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	コンクリ ート二次製品 関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	60,964	8,378	69,343	5,750	75,094	—	75,094
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	25	—	25	232	258	△258	—
計	60,990	8,378	69,369	5,983	75,352	△258	75,094
セグメント利益	7,443	587	8,031	1,116	9,147	△644	8,503
セグメント資産	45,644	6,726	52,371	10,709	63,080	28,662	91,743
その他の項目							
減価償却費	1,510	359	1,869	515	2,384	40	2,425
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,857	644	2,502	454	2,956	135	3,091

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△644百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額28,662百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、各報告セグメントに帰属しない設備等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額135百万円は、各報告セグメントに帰属しない設備等の投資額であります。

3. セグメント利益及びセグメント資産の調整後の金額は、それぞれ連結財務諸表の営業利益及び資産合計と一致しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	コンクリート二次製品 関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	56,006	7,526	63,532	5,375	68,907	—	68,907
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	33	—	33	243	276	△276	—
計	56,039	7,526	63,565	5,618	69,184	△276	68,907
セグメント利益	6,778	506	7,284	920	8,205	△710	7,494
セグメント資産	42,061	6,865	48,927	11,039	59,966	37,992	97,958
その他の項目							
減価償却費	1,643	384	2,027	438	2,466	53	2,519
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,804	510	2,314	318	2,632	55	2,688

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△710百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額37,992百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、各報告セグメントに帰属しない設備等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額55百万円は、各報告セグメントに帰属しない設備等の投資額であります。

3. セグメント利益及びセグメント資産の調整後の金額は、それぞれ連結財務諸表の営業利益及び資産合計と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,109円43銭	3,501円85銭
1株当たり当期純利益金額	289円15銭	280円34銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益 (百万円)	5,614	5,375
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	5,614	5,375
普通株式の期中平均株式数 (株)	19,418,337	19,173,794

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	61,529	68,581
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1,859	1,468
(うち非支配株主持分) (百万円)	(1,859)	(1,468)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	59,669	67,112
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (株)	19,189,835	19,165,005

(重要な後発事象)

該当事項はありません。